２月１３日（火）３年登校日に「社会保険労務士による出前授業」、「年金セミナー」が行われました。その内容と生徒の感想を紹介します。

社会保険労務士による出前授業

この出前授業は平成 27 年度から始まったばかりの事業で、今年度初めて本校でも実施しました。長崎県社会保険労務士会から講師の先生をお迎えし、お話しいただきました。

「知っておきたい働くときの基礎知識～社会に出る君たちへ～」という冊子を使いながら、①『入社の前に確認しておこう』→労働条件、就業規則などについて、②『職場でトラブルがあったとき』→解雇・残業代の未払い・いじめなどのトラブルの解決方法について、③『失業したり退職したりしたとき』→雇用保険の仕組みについてなど、実際に社会に出た時のために知っておかなければならない大切なお話がたくさんありました。特に②については、トラブルがあった時の相談機関についても別冊資料で詳しい説明をしていただきました。就職後、もしも困ったことがあったら一人で悩まずに、すぐに相談してアドバイスを受けてほしいと思います。そして一つ一つ解決していきながら、よりよい社会生活を送ってほしいと思っています。

≪生徒の感想≫

・4 月から仕事を始めるので今回の話を聞けてよかったです。いじめなどがあった時に、相談できる場所があるのは心強いなと思いました。
・職場でのトラブルなどのお話を聞いて、働き始める前から労働条件通知書で自身の労働条件を把握しておくことが大切だと思った。将来働いていて自分がおかしいと感じたことに対しては声を上げたいと思った。労働について相談に乗ってくれるところも身近にあると知ったので、困った時は積極的に利用したいと思った。
・働く職場の環境や、退職時・退職後に気を付けるべきことがあることを知りました。労働者は、労働組合や法律でしっかり守られていることを知り、安心しました。

年金セミナー

年金セミナーでは、日本年金機構長崎北年金事務所から講師の先生をお迎えし、お話しいただきました。

「知っておきたい年金のはなし」ということで、年金の仕組み、ルール、民間の保険と違い、20 歳になったらしなければならないことについて講話がありました。生徒たちは、老齢年金だけでなく、障害年金や遺族年金といった給付制度について、世代と世代の支え合いによって成り立っていることを詳しく聞くことで、理解が深まり、必要性についても考えることができたようです。最後にクイズ形式で本日の振り返りをしていただきましたが、大変盛り上がり、生徒たちも「楽しかった！」と感想を述べていました。

４月からはそれぞれの進路に進みます。20 歳になったとき、きちんと手続きを行い、もしものときに備え、安心した生活が送れようにしてほしいと思います。

≪生徒の感想≫

・セミナーを受ける前は年金のことが難しくてわからなかったけれど、受けてみるととてもわかりやすく理解できてよかった。
・年金を払うことは自分や家族のために大切なことだと思いました。
・年金は老後のものだけだと思っていたけれど、様々な目的があることを知り、とても大切なものだと感じました。